



2023年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2023年5月12日

上場会社名 日本甜菜製糖株式会社
コード番号 2108 URL <https://www.nitten.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石栗 秀

問合せ先責任者 (役職名) 法務室長 (氏名) 草野 考弘

TEL 03-6414-5527

定時株主総会開催予定日 2023年6月29日 配当支払開始予定日 2023年6月30日

有価証券報告書提出予定日 2023年6月29日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の連結業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	65,013	11.1	1,506	32.4	1,993	29.3	1,260	36.2
2022年3月期	58,492	6.8	2,229	18.0	2,818	20.0	1,975	20.3

(注) 包括利益 2023年3月期 1,103百万円 (4.1%) 2022年3月期 1,060百万円 (58.0%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	93.59		1.9	2.0	2.3
2022年3月期	141.76		2.9	2.8	3.8

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 24百万円 2022年3月期 40百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	103,149	68,134	66.1	5,102.17
2022年3月期	100,458	67,918	67.6	5,037.45

(参考) 自己資本 2023年3月期 68,134百万円 2022年3月期 67,918百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	1,825	1,704	2,969	10,589
2022年3月期	2,577	489	1,381	11,150

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期				50.00	50.00	674	35.3	1.0
2023年3月期				50.00	50.00	667	53.4	1.0
2024年3月期(予想)				50.00	50.00		44.5	

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	33,000	8.2	1,100	6.2	1,500	5.2	1,000	1.9	74.88
通期	70,000	7.7	1,600	6.2	2,200	10.4	1,500	19.0	112.33

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期	15,325,642 株	2022年3月期	15,325,642 株
期末自己株式数	2023年3月期	1,971,718 株	2022年3月期	1,842,873 株
期中平均株式数	2023年3月期	13,467,572 株	2022年3月期	13,932,948 株

(注) 1株当たり当期純利益(連結)の算定上の基礎となる株式数については添付資料15ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記(5) 連結財務諸表に関する注記事項(1株当たり情報)」をご覧ください。

(参考) 個別業績の概要

2023年3月期の個別業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	62,595	11.8	1,202	35.2	1,595	31.9	1,000	56.5
2022年3月期	56,004	6.9	1,856	17.5	2,342	20.1	2,300	69.1

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期	74.29	
2022年3月期	165.10	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	98,623	60,844	61.7	4,556.29
2022年3月期	95,705	60,895	63.6	4,516.51

(参考) 自己資本 2023年3月期 60,844百万円 2022年3月期 60,895百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(1) 当期の経営成績の概況 次期の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は本日、当社ウェブサイトに掲載予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(表示方法の変更)	12
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15
4. 個別財務諸表	16
(1) 貸借対照表	16
(2) 損益計算書	18
(3) 株主資本等変動計算書	19

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

① 当期の経営成績

当連結会計年度のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が徐々に緩和され、個人消費に緩やかな持ち直しが見られるものの、原材料やエネルギー価格上昇の影響等、先行きが非常に不透明な状況となっております。

消費者の低甘味嗜好や輸入加糖調製品等の代替甘味料の増加等からこれまでも減少傾向にあった国内の砂糖消費量は、コロナ禍の影響によりさらに落ち込み、未だ十分に回復できておらず、砂糖業界は大変厳しい状況となっております。

当連結会計年度は、主に砂糖事業と飼料事業における販売価格の上昇により、売上高は前期比11.1%増の65,013百万円となりましたが、経常利益は、主に原材料価格の高騰やエネルギーコストの増加に伴う飼料事業の減益により、前期比29.3%減の1,993百万円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、前期比36.2%減の1,260百万円となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

< 砂糖事業 >

海外市況につきましては、ニューヨーク市場粗糖先物相場（当限）において1ポンド当たり期初19.37セントで始まり、7月にはブラジルの供給増が予想され17セント半ばまで下落したものの、インドに加えタイやブラジルの減産で粗糖の需給が引き締まるとの見方から、22.25セントで当期を終えました。

一方、国内市況につきましては、期初204円～205円（東京精糖上白現物相場、キログラム当たり）で始まりましたが、急激な円安や海外砂糖相場の上昇等により、8月に216円～217円に上昇、さらには2月に227円～229円に上昇し、そのまま当期を終えました。

2022年産の原料てん菜による製糖作業は、10月上旬より開始いたしました。昨年の原料てん菜は、特に十勝地方において夏場の高温多雨により生育が停滞し、収量・品質に影響を受けました。品質管理の徹底による原料てん菜品質の維持・劣化抑制、製糖資材の使用量の抑制に努めましたが、ウクライナ情勢や円安の影響等によるエネルギー価格の高騰等により、製造コストは著しく増加しました。

ビート糖は、新型コロナウイルス感染症の影響により落ちこんだ販売量が、清涼飲料向けや菓子向け等の業務用において回復が見られ、販売価格も上昇したことから、売上高は前期を上回りました。

精糖は、家庭用販売量が減少したものの、業務用販売量の回復と販売価格の上昇により、売上高は前期を上回りました。

砂糖セグメントの売上高は、42,818百万円（前期比13.2%増）となりましたが、エネルギーコストの増加の影響が大きく、243百万円のセグメント損失（前期は331百万円のセグメント損失）となりました。

< 食品事業 >

イーストは、適正価格での販売に努めたこと等により、売上高は前期を上回りました。

オリゴ糖等食品素材は、ラフィノース等のオリゴ糖の販売量が増加し、売上高は前期を上回りました。

食品セグメントの売上高は、2,528百万円（前期比7.6%増）となり、49百万円のセグメント利益（前期は21百万円のセグメント損失）となりました。

< 飼料事業 >

配合飼料は、コロナ禍による牛乳消費減退の影響を受けて販売数量は減少しましたが、穀物相場の影響を受けて販売単価が上昇したことにより、売上高は前期を上回りました。

ビートパルプは、原料となるてん菜の収量減少に伴う減産により、販売量、売上高ともに前期を下回りました。

飼料セグメントの売上高は、12,536百万円（前期比11.4%増）となりましたが、原材料価格の高騰やエネルギーコストの増加の影響が大きく、440百万円のセグメント利益（前期比66.7%減）となりました。

< 農業資材事業 >

紙筒（移植栽培用育苗鉢）は、ビート用の販売量が減少したものの、そ菜用の販売量が増加し、

売上高は前期を上回りました。

農業機材は、移植機材・播種機材等の売上減少により、売上高は前期を下回りました。

農業資材セグメントの売上高は、4,353百万円（前期比3.0%増）となり、セグメント利益は207百万円（前期比9.1%増）となりました。

<不動産事業>

不動産事業は、売上高、営業利益とも、ほぼ前期並みとなりました。

不動産セグメントの売上高は、1,510百万円（前期比2.5%減）となり、セグメント利益は965百万円（前期比0.3%減）となりました。

<その他の事業>

その他の事業は、スポーツレジャー施設の来客者数が回復したものの、貨物輸送や書籍販売の減少により、売上、利益とも減少しました。

その他の事業の売上高は、1,265百万円（前期比2.8%減）となり、営業利益は70百万円（前期比25.9%減）となりました。

②次期の見通し

砂糖業界を取り巻く環境は、深刻な砂糖離れに加え、コロナ禍により落ち込んでいる砂糖消費量が回復しておらず、非常に厳しい状況となっております。次期の見通しにつきましては、砂糖相場の上昇による販売価格の上昇が見込まれているものの、エネルギーコスト高騰の影響により、砂糖を始めとした当社製品の製造コストの高止まりも見込まれております。

2023年産原料てん菜の作況や海外砂糖相場の動向等、先行き不透明な部分がありますが、コスト削減と適正価格での販売に努めること等により、現時点においては、売上高は70,000百万円、経常利益は2,200百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は1,500百万円を見込んでおります。

今後、業績予想に変更が生じる場合には速やかにお知らせいたします。

(2) 当期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

資産の合計は103,149百万円で、前連結会計年度末に比べ2,690百万円の増加となりました。このうち流動資産は57,054百万円となり、主に原材料及び貯蔵品の増加により、前連結会計年度末に比べ2,101百万円の増加となりました。また、固定資産は46,094百万円となり、主に機械装置及び運搬具の増加により、前連結会計年度末に比べ588百万円の増加となりました。

一方、負債の合計は35,015百万円で、主に短期借入金の増加により、前連結会計年度末に比べ2,475百万円の増加となりました。

純資産は、前連結会計年度末比215百万円増の68,134百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、1,825百万円の支出となり、前年同期に比べ、4,403百万円の資金の減少となりました。

これは、主に売上債権の増加で1,742百万円、仕入債務の減少で1,203百万円、法人税等支払額の増加で876百万円の資金の減少となったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは、1,704百万円の支出となり、前年同期に比べ、2,193百万円の資金の減少となりました。

これは、主に、投資有価証券の売却による収入の減少で1,820百万円、有形固定資産の取得による支出の増加で578百万円の資金の減少となったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは、2,969百万円の収入となり、前年同期に比べ、1,587百万円の資金の増加となりました。

これは、主に、短期借入金の収支差による収入で1,000百万円、自己株式の取得による支出の減少で670百万円の資金の増加となったことによるものであります。

以上の結果、当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ560百万円減少し、10,589百万円となりました。

なお、キャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期
自己資本比率 (%)	70.3	67.6	66.1
時価ベースの自己資本比率 (%)	23.6	21.6	21.6
債務償還年数 (年)	—	6.5	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	—	20.0	—

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

債務償還年数：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1. 各指標は、いずれも連結ベースの財務指標数値により算出しております。

2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

3. 営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。なお、2021年3月期及び2023年3月期の債務償還年数及びインタレスト・カバレッジ・レシオについては、営業活動によるキャッシュ・フローがマイナスのため、記載を省略しています。

4. 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

5. 利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

利益配分につきましては、株主の皆様への適切な利益還元を経営上の重要な政策と位置づけ、財務体質の強化と事業基盤の拡大を図りつつ、安定的な配当を継続することを基本方針としております。

内部留保資金につきましては、将来にわたる企業体質の改善及び事業の拡大に備え、設備の新設・更新等の資金需要に有効に活用してまいりたいと存じます。

当期の配当金につきましては、砂糖業界を取り巻く環境が依然として厳しく、先行き予断を許さない状況にありますので、企業体質の一層の強化・充実を図るため、内部留保にも意を用い、1株につき50円の配当を予定しております。

なお、株式価値の向上及び株主還元の充実を図るために、2024年3月期以降の配当方針を変更し、1株につき50円以上とすることに加え、必要に応じて自己株式を取得することといたします。

次期の配当金につきましては、外部環境の変化や当社の財政・収益状態等を総合的に勘案し、1株につき50円の配当を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,160	4,589
受取手形	126	9
電子記録債権	393	228
売掛金	6,809	8,527
有価証券	6,000	6,000
商品及び製品	27,616	29,667
仕掛品	3,284	483
原材料及び貯蔵品	2,996	5,746
未収入金	1,352	1,705
その他	218	102
貸倒引当金	△5	△6
流動資産合計	54,952	57,054
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	37,268	37,948
減価償却累計額	△25,906	△26,524
建物及び構築物(純額)	11,362	11,423
機械装置及び運搬具	53,829	55,141
減価償却累計額	△48,158	△49,126
機械装置及び運搬具(純額)	5,671	6,015
土地	6,110	6,110
リース資産	77	53
減価償却累計額	△57	△31
リース資産(純額)	20	22
建設仮勘定	249	611
その他	3,045	3,063
減価償却累計額	△2,851	△2,835
その他(純額)	193	227
有形固定資産合計	23,607	24,411
無形固定資産	425	513
投資その他の資産		
投資有価証券	19,809	19,527
退職給付に係る資産	1,502	1,481
その他	162	163
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	21,473	21,169
固定資産合計	45,506	46,094
資産合計	100,458	103,149

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,749	1,180
短期借入金	14,663	18,637
未払法人税等	954	100
契約負債	4	5
その他	5,254	5,801
流動負債合計	22,626	25,724
固定負債		
長期借入金	226	119
繰延税金負債	3,331	3,387
役員退職慰労引当金	24	12
退職給付に係る負債	4,499	4,090
その他	1,831	1,680
固定負債合計	9,913	9,290
負債合計	32,540	35,015
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,279	8,279
資本剰余金	8,416	8,413
利益剰余金	44,934	45,521
自己株式	△3,528	△3,739
株主資本合計	58,101	58,473
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,367	9,182
繰延ヘッジ損益	3	△2
退職給付に係る調整累計額	446	480
その他の包括利益累計額合計	9,816	9,660
純資産合計	67,918	68,134
負債純資産合計	100,458	103,149

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年 4 月 1 日 至 2022年 3 月 31 日)	当連結会計年度 (自 2022年 4 月 1 日 至 2023年 3 月 31 日)
売上高	58,492	65,013
売上原価	43,216	49,873
売上総利益	15,276	15,139
販売費及び一般管理費		
販売費	9,993	10,516
一般管理費	3,052	3,116
販売費及び一般管理費合計	13,046	13,632
営業利益	2,229	1,506
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	633	637
持分法による投資利益	40	24
その他	116	77
営業外収益合計	792	740
営業外費用		
支払利息	117	123
固定資産処分損	60	85
遊休資産諸費用	20	39
その他	4	4
営業外費用合計	203	253
経常利益	2,818	1,993
特別利益		
投資有価証券売却益	1,494	186
その他	4	20
特別利益合計	1,499	206
特別損失		
固定資産処分損	60	47
関係会社株式売却損	675	-
減損損失	473	243
その他	21	0
特別損失合計	1,230	291
税金等調整前当期純利益	3,087	1,908
法人税、住民税及び事業税	1,249	500
法人税等調整額	△136	147
法人税等合計	1,112	647
当期純利益	1,975	1,260
親会社株主に帰属する当期純利益	1,975	1,260

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	1,975	1,260
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,021	△184
繰延ヘッジ損益	△0	△5
退職給付に係る調整額	107	33
その他の包括利益合計	△914	△156
包括利益	1,060	1,103
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,060	1,103
非支配株主に係る包括利益	-	-

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	8,279	8,418	43,663	△2,630	57,730
会計方針の変更による 累積的影響額			△2		△2
会計方針の変更を反映した 当期首残高	8,279	8,418	43,660	△2,630	57,727
当期変動額					
剰余金の配当			△700		△700
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,975		1,975
自己株式の取得				△910	△910
自己株式の処分		△2		12	10
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△2	1,274	△898	374
当期末残高	8,279	8,416	44,934	△3,528	58,101

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	10,389	3	338	10,731	68,462
会計方針の変更による 累積的影響額					△2
会計方針の変更を反映した 当期首残高	10,389	3	338	10,731	68,459
当期変動額					
剰余金の配当					△700
親会社株主に帰属する 当期純利益					1,975
自己株式の取得					△910
自己株式の処分					10
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△1,021	△0	107	△914	△914
当期変動額合計	△1,021	△0	107	△914	△540
当期末残高	9,367	3	446	9,816	67,918

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	8,279	8,416	44,934	△3,528	58,101
当期変動額					
剰余金の配当			△674		△674
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,260		1,260
自己株式の取得				△239	△239
自己株式の処分		△3		28	25
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	-	△3	586	△211	372
当期末残高	8,279	8,413	45,521	△3,739	58,473

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	9,367	3	446	9,816	67,918
当期変動額					
剰余金の配当					△674
親会社株主に帰属する 当期純利益					1,260
自己株式の取得					△239
自己株式の処分					25
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	△184	△5	33	△156	△156
当期変動額合計	△184	△5	33	△156	215
当期末残高	9,182	△2	480	9,660	68,134

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	3,087	1,908
減価償却費	2,409	2,382
減損損失	473	243
持分法による投資損益 (△は益)	△40	△24
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△94	△274
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△4	△64
受取利息及び受取配当金	△634	△638
支払利息	117	123
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	△1,485	△186
有形固定資産除却損	23	48
関係会社株式売却損益 (△は益)	675	-
売上債権の増減額 (△は増加)	305	△1,436
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,973	△2,000
前払費用の増減額 (△は増加)	2	62
未収入金の増減額 (△は増加)	204	△136
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△1	54
仕入債務の増減額 (△は減少)	634	△568
未払消費税等の増減額 (△は減少)	16	△23
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	37	△171
その他	△24	△155
小計	2,727	△856
利息及び配当金の受取額	634	638
利息の支払額	△128	△121
保険金の受取額	0	46
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△655	△1,532
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,577	△1,825
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,010	-
定期預金の払戻による収入	680	1,010
投資有価証券の売却及び償還による収入	2,045	224
関係会社株式の売却による収入	776	-
有形固定資産の取得による支出	△2,100	△2,678
有形固定資産の売却による収入	32	6
無形固定資産の取得による支出	△141	△147
貸付金の回収による収入	309	-
国庫補助金等の受入による収入	9	24
預り保証金の返還による支出	△156	△129
預り保証金の受入による収入	30	6
その他	15	△20
投資活動によるキャッシュ・フロー	489	△1,704
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	16,030	22,330
短期借入金の返済による支出	△13,030	△18,330
長期借入れによる収入	130	-
長期借入金の返済による支出	△136	△133
配当金の支払額	△698	△672
自己株式の取得による支出	△910	△239
自己株式の売却による収入	10	25
その他	△13	△10
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,381	2,969
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,449	△560
現金及び現金同等物の期首残高	6,701	11,150
現金及び現金同等物の期末残高	11,150	10,589

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結貸借対照表関係)

前連結会計年度において、「流動資産」の「受取手形」に含めていた「電子記録債権」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」の「受取手形」に表示していた519百万円は、「受取手形」126百万円、「電子記録債権」393百万円として組み替えております。

(連結損益計算書関係)

前連結会計年度において、「営業外費用」の「その他」に含めていた「遊休資産諸費用」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外費用」の「その他」に表示していた25百万円は、「遊休資産諸費用」20百万円、「その他」4百万円として組み替えております。

(連結キャッシュ・フロー計算書)

前連結会計年度において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めていた「前払費用の増減額(△は増加)」、「その他の流動資産の増減額(△は増加)」及び「その他の流動負債の増減額(△は減少)」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記しております。また、前連結会計年度において、独立掲記していた「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「有形固定資産売却損益」は、金額的重要性が乏しくなったため、当連結会計年度より「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」に表示していた「有形固定資産売却損益」3百万円、「その他」10百万円は、「前払費用の増減額(△は増加)」2百万円、「その他の流動資産の増減額(△は増加)」△1百万円、「その他の流動負債の増減額(△は減少)」37百万円、「その他」△24百万円としてそれぞれ組み替えております。

前連結会計年度において、独立掲記していた「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「投資有価証券の取得による支出」及び「貸付けによる支出」は、金額的重要性が乏しくなったため、当連結会計年度より「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、「投資活動によるキャッシュ・フロー」に表示していた「投資有価証券の取得による支出」△4百万円、「貸付けによる支出」△9百万円、「その他」28百万円は、「その他」15百万円として組み替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品・サービス別に事業単位が分かれており、各事業単位は取り扱う製品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って当社グループは製品・サービス別の事業セグメントから構成されており、「砂糖事業」、「食品事業」、「飼料事業」、「農業資材事業」、「不動産事業」を報告セグメントとしております。

「砂糖事業」はビート糖、精糖及び糖蜜等の製造販売、「食品事業」はイースト、オリゴ糖等食品素材の製造販売、「飼料事業」は飼料の製造販売、「農業資材事業」は農業用機械器具及び農業資材の製造販売、「不動産事業」は商業施設等の賃貸を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計額
	砂糖	食品	飼料	農業資材	不動産	計		
売上高								
顧客との契約から生じる収益	37,809	2,350	11,253	4,228	-	55,641	1,252	56,893
その他の収益	-	-	-	-	1,549	1,549	49	1,598
外部顧客への売上高	37,809	2,350	11,253	4,228	1,549	57,191	1,301	58,492
セグメント間の内部売上高 又は振替高	212	25	15	15	124	394	7,825	8,219
計	38,022	2,376	11,268	4,243	1,674	57,585	9,126	66,712
セグメント利益又は損失(△)	△331	△21	1,321	190	968	2,127	94	2,222

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物輸送、石油類の販売及びスポーツ施設・書店の営業等を含んでおります。なお、セグメント間の内部売上高又は振替高は、実際の取引総額に基づいております。

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計額
	砂糖	食品	飼料	農業資材	不動産	計		
売上高								
顧客との契約から生じる収益	42,818	2,528	12,536	4,353	—	62,236	1,212	63,449
その他の収益	—	—	—	—	1,510	1,510	53	1,563
外部顧客への売上高	42,818	2,528	12,536	4,353	1,510	63,747	1,265	65,013
セグメント間の内部売上高 又は振替高	238	27	14	4	124	409	11,562	11,972
計	43,056	2,556	12,550	4,357	1,635	64,157	12,828	76,985
セグメント利益又は損失(△)	△243	49	440	207	965	1,419	70	1,489

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物輸送、石油類の販売及びスポーツ施設・書店の営業等を含んでおります。なお、セグメント間の内部売上高又は振替高は、実際の取引総額に基づいております。

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	57,585	64,157
「その他」の区分の売上高	9,126	12,828
セグメント間取引消去	△8,219	△11,972
連結財務諸表の売上高	58,492	65,013

(単位：百万円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	2,127	1,419
「その他」の区分の利益又は損失(△)	94	70
セグメント間取引消去	6	15
その他の調整額	1	0
連結財務諸表の営業利益	2,229	1,506

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	5,037.45円	5,102.17円
1株当たり当期純利益金額	141.76円	93.59円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額(百万円)	1,975	1,260
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益金額(百万円)	1,975	1,260
普通株式の期中平均株式数(株)	13,932,948	13,467,572

3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度末 (2022年3月31日)	当連結会計年度末 (2023年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	67,918	68,134
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	67,918	68,134
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(株)	13,482,769	13,353,924

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 個別財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,522	3,227
受取手形	45	-
電子記録債権	392	222
売掛金	7,203	8,702
有価証券	6,000	6,000
商品及び製品	26,780	28,814
仕掛品	3,260	456
原材料及び貯蔵品	2,979	5,719
前払費用	159	85
未収入金	1,394	1,756
その他	64	24
貸倒引当金	△6	△8
流動資産合計	52,795	55,000
固定資産		
有形固定資産		
建物	8,909	8,920
構築物	1,621	1,698
機械及び装置	5,345	5,676
工具、器具及び備品	178	212
土地	6,035	6,035
建設仮勘定	249	607
その他	65	71
有形固定資産合計	22,404	23,220
無形固定資産		
借地権	179	179
ソフトウェア	119	212
その他	118	112
無形固定資産合計	417	505
投資その他の資産		
投資有価証券	18,696	18,429
関係会社株式	391	391
前払年金費用	926	991
その他	73	86
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	20,087	19,897
固定資産合計	42,909	43,622
資産合計	95,705	98,623

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,698	1,100
短期借入金	17,658	21,932
未払金	281	1,037
未払費用	2,213	2,095
未払法人税等	865	42
前受金	108	109
契約負債	4	5
従業員預り金	1,775	1,705
その他	678	690
流動負債合計	25,283	28,718
固定負債		
長期借入金	226	119
繰延税金負債	2,996	3,053
退職給付引当金	4,553	4,277
長期預り敷金	1,086	1,072
その他	663	537
固定負債合計	9,526	9,060
負債合計	34,810	37,779
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,279	8,279
資本剰余金		
資本準備金	8,404	8,404
その他資本剰余金	11	8
資本剰余金合計	8,416	8,413
利益剰余金		
利益準備金	2,069	2,069
その他利益剰余金		
配当準備積立金	2,700	2,700
事業拡張積立金	1,200	1,200
買換資産圧縮積立金	1,936	1,910
特別償却準備金	32	22
別途積立金	18,516	18,516
繰越利益剰余金	12,274	12,636
利益剰余金合計	38,729	39,056
自己株式	△3,528	△3,739
株主資本合計	51,896	52,008
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8,994	8,837
繰延ヘッジ損益	3	△2
評価・換算差額等合計	8,998	8,835
純資産合計	60,895	60,844
負債純資産合計	95,705	98,623

(2) 損益計算書

	(単位：百万円)	
	前事業年度 (自 2021年 4月 1日 至 2022年 3月 31日)	当事業年度 (自 2022年 4月 1日 至 2023年 3月 31日)
売上高	56,004	62,595
売上原価	41,911	48,553
売上総利益	14,092	14,042
販売費及び一般管理費	12,236	12,840
営業利益	1,856	1,202
営業外収益		
受取利息及び配当金	611	614
その他	105	63
営業外収益合計	716	677
営業外費用		
支払利息	145	155
固定資産処分損	60	84
遊休資産諸費用	20	39
その他	4	4
営業外費用合計	230	284
経常利益	2,342	1,595
特別利益		
投資有価証券売却益	1,494	182
その他	3	20
特別利益合計	1,497	202
特別損失		
固定資産処分損	59	46
関係会社株式売却損	24	-
減損損失	473	243
その他	20	0
特別損失合計	577	290
税引前当期純利益	3,262	1,508
法人税、住民税及び事業税	1,099	371
法人税等調整額	△137	136
法人税等合計	961	507
当期純利益	2,300	1,000

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金			利益剰余金	
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金 配当準備 積立金
当期首残高	8,279	8,404	13	8,418	2,069	2,700
会計方針の変更による 累積的影響額						
会計方針の変更を反映した 当期首残高	8,279	8,404	13	8,418	2,069	2,700
当期変動額						
買換資産圧縮積立金の 取崩						
特別償却準備金の取崩						
剰余金の配当						
当期純利益						
自己株式の取得						
自己株式の処分			△2	△2		
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						
当期変動額合計	—	—	△2	△2	—	—
当期末残高	8,279	8,404	11	8,416	2,069	2,700

	株主資本					
	利益剰余金					
	その他利益剰余金					利益剰余金 合計
	事業拡張 積立金	買換資産 圧縮積立金	特別償却 準備金	別途積立金	繰越利益 剰余金	
当期首残高	1,200	1,966	42	18,516	10,637	37,132
会計方針の変更による 累積的影響額					△2	△2
会計方針の変更を反映した 当期首残高	1,200	1,966	42	18,516	10,634	37,129
当期変動額						
買換資産圧縮積立金の 取崩		△30			30	—
特別償却準備金の取崩			△9		9	—
剰余金の配当					△700	△700
当期純利益					2,300	2,300
自己株式の取得						
自己株式の処分						
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						
当期変動額合計	—	△30	△9	—	1,639	1,599
当期末残高	1,200	1,936	32	18,516	12,274	38,729

	株主資本		評価・換算差額等			純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△2,630	51,200	10,001	3	10,005	61,205
会計方針の変更による 累積的影響額		△2				△2
会計方針の変更を反映した 当期首残高	△2,630	51,197	10,001	3	10,005	61,202
当期変動額						
買換資産圧縮積立金の 取崩		—				—
特別償却準備金の取崩		—				—
剰余金の配当		△700				△700
当期純利益		2,300				2,300
自己株式の取得	△910	△910				△910
自己株式の処分	12	10				10
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）			△1,006	△0	△1,007	△1,007
当期変動額合計	△898	699	△1,006	△0	△1,007	△307
当期末残高	△3,528	51,896	8,994	3	8,998	60,895

当事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本					
	資本金	資本剰余金			利益剰余金	
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金 配当準備 積立金
当期首残高	8,279	8,404	11	8,416	2,069	2,700
当期変動額						
買換資産圧縮積立金の 取崩						
特別償却準備金の取崩						
剰余金の配当						
当期純利益						
自己株式の取得						
自己株式の処分			△3	△3		
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）						
当期変動額合計	—	—	△3	△3	—	—
当期末残高	8,279	8,404	8	8,413	2,069	2,700

	株主資本					
	利益剰余金					
	その他利益剰余金					利益剰余金 合計
	事業拡張 積立金	買換資産 圧縮積立金	特別償却 準備金	別途積立金	繰越利益 剰余金	
当期首残高	1,200	1,936	32	18,516	12,274	38,729
当期変動額						
買換資産圧縮積立金の 取崩		△25			25	—
特別償却準備金の取崩			△9		9	—
剰余金の配当					△674	△674
当期純利益					1,000	1,000
自己株式の取得						
自己株式の処分						
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）						
当期変動額合計	—	△25	△9	—	361	326
当期末残高	1,200	1,910	22	18,516	12,636	39,056

	株主資本		評価・換算差額等			純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△3,528	51,896	8,994	3	8,998	60,895
当期変動額						
買換資産圧縮積立金の 取崩		—				—
特別償却準備金の取崩		—				—
剰余金の配当		△674				△674
当期純利益		1,000				1,000
自己株式の取得	△239	△239				△239
自己株式の処分	28	25				25
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）			△157	△5	△162	△162
当期変動額合計	△211	112	△157	△5	△162	△50
当期末残高	△3,739	52,008	8,837	△2	8,835	60,844